

6.4

修学旅行の約束を考えよう

1. 題材設定の理由

修学旅行は小学校の出口の1つとなる大きな行事である。しかし、ともすれば旅行の楽しさばかりが追求され、終わってしまえば何も残らないような行事となってしまうがちである。ここでは、修学旅行は学級づくりの大きな柱であり、小学校で学び得た力を発揮する場、と考えたい。4月につくった学級目標の実現に向けた活動となるように、みんなの願いを交流し、修学旅行の学級目標や約束づくりをするための時間を設定した。

2. 指導のねらい

修学旅行に向けた願いを交流し、修学旅行の学級目標やその実現のための約束づくりを通して、修学旅行のねらいを理解し、学級目標の実現に向けた行動を考えることができる。

3. 指導計画（全1時間）

事前	・前もって修学旅行への願いを書かせておく。
本時	・学級目標とのかかわりで修学旅行を考えさせ、必要な約束をはっきりさせる。
事後	・みんなで話し合った約束が守れたかどうかや仲間や学級の良さを確かめ合う。(ノート④)

	活動のねらい	活動の内容	指導・援助の留意点	資料等
はじめの活動	・修学旅行に向けての自分の願いを確かめることができる。	◎お互いの願いを交流する。	・個々の願いを大まかに一覧にして提示する。	・事前にp38の①に書かせておいた願いを一覧表にしておく。
課題：修学旅行に向けての仲間の願いを実現するために、何が大切かを考えよう。				
中心的活动	・修学旅行に向けての願いも学級目標の延長線にあることに気づき、お互いの願いを理解しあって、学級としての目標や約束を自分たちでつくりあげることができる。	◎学級目標にこめられた願いを確かめる。 ◎修学旅行を終えての日記を読んで感想を交流する。 ◎再度お互いの願いを確かめ合う。 ◎お互いの願いを受けた目標をつくる。 ◎約束をつくる。	・司会者と事前の打ち合わせをしておく。 ・学級目標と修学旅行の願いがつながっていることをつかませる。 ・言葉遊びに終始しないよう配慮する。	ノート63「学級目標をつくらう」(p36~37)を使う。 ノート(p38)の作文 ノート② ノート③
まとめ	・学級目標の実現に向けて、自分が努力しようという気持ちをもつことができる。	◎目標や約束を受けて、自分が努力したいことを交流する。	・数人に全体の場で発表させる。	ノート③